

## 第 57 回日本糖尿病学会 ポスター発表 I-P-160

【目的】日本人 2 型糖尿病患者におけるシタグリプチンの有効性と安全性を検討

【方法】名古屋市内 248 施設の HbA1c6.9%以上 10.5%未満の 2 型糖尿病患者にシタグリプチンを 1 年間投与し、HbA1c、空腹時血糖、脂質、血圧等について検討した。登録された 1052 症例のうち、1 年間投与後調査票を回収できた 596 例を対象に解析を行った。

【結果】患者平均年齢  $66.3 \pm 10.6$  歳、平均罹病期間  $7.62 \pm 6.28$  年。全体の 48.2% はシタグリプチン単独で投与開始されていた。HbA1c は 1 年後には 7.9%→7.1% と有意な改善を認めた。脂質についても有意な改善を示した。年齢、BMI、罹病期間、併用薬剤別の解析において、各階層間で安全性・有効性に差はなかった。副作用も便秘や掻痒感などが認められたが、1 年間投与において良好な忍容性が得られた。

【考察】シタグリプチンは幅広い患者で、1 年間にわたり安全に血糖コントロールできることが示された。